

●問題リストおよび解答例

※文中の取り消し線の箇所が修正部分で、その上に解答が示されています。

No. 1 *誤り数5	日曜日、お父さんと富士公園に <sup>行った</sup> 行く。富士公園には、アスレチックがたくさん <sup>あって</sup> いて、子どもたちが、何人も遊んでいた。わたしもやってみたら、 <sup>楽しんで</sup> すごくうれしくて、あっというまに夕方になってしまった。もう少しやりたかったけれど、 <sup>晩</sup> 朝ごはんの時間だよ、とお父さんが <sup>に</sup> いわれて、家に帰った。
No. 2 *誤り数5	ひろみちゃんと駅前のスーパーに、 <sup>に</sup> 買いものを行った。わたしは、鉛筆とノートを買った。ひろみちゃんは消しゴムを買った。帰りにアイスを食べようと <sup>に</sup> 思ったら、わたしは、もう五十円しか <sup>なかつ</sup> あった。でも、ひろみちゃんが、七十円かして <sup>くれた</sup> あげたので、わたしもアイスが <sup>買った</sup> 買った。
No. 3 *誤り数6	あした、とんぼやま公園に遠足に <sup>行く</sup> 行つたので、ぼくは吉田君と自転車 <sup>に</sup> をのって、おかしを買いに行つた。スーパーで、三百円分おかしを買ったら、おばさんが十円おまけして <sup>くれ</sup> あげた。ぼくは、 <sup>その</sup> その十円でラムネを買った。帰りに自転車が <sup>こわれ</sup> こわれてしまつて、ぼくは家 <sup>まで</sup> から歩いて帰った。
No. 4 *誤り数5	つばさくんの家には、ちびという名前の、犬が <sup>い</sup> あります。ちびは、 <sup>まだ</sup> まだ、こどもだけれど、つばさくんの言うことを、何でもよく聞きます。夕方ちびは、つばさくんに、散歩につれていって <sup>もら</sup> います。公園の砂場 <sup>で</sup> 遊ぶのが大好きです。家に帰ると、ミルクを <sup>ゴクゴク</sup> ガリガリ飲んで、ねます。
No. 5 *誤り数5	今からカップラーメンの作り方を説明します。まず、お湯が、 <sup>を</sup> わかします。 <sup>つぎ</sup> に、カップラーメンのふたをあけて、スープと具を入れます。それから、お湯を入れます。 <sup>その</sup> そのとき、やけどしないように、気をつけてください。そして、3分間まつと、 <sup>でき</sup> できさ <sup>がり</sup> 。もう、やってみよう！
No. 6 *誤り数5	むかし、ある町に、とてもびんぼうな、おじいさんが、住んでいま <sup>し</sup> ます。ある日、おじいさんが、お屋ごはんの、魚を <sup>焼</sup> 焼けていると、一匹のネコが、家の中 <sup>に</sup> で入ってきました。 <sup>それ</sup> あれは、まだ子どもの、黒いネコでした。そして、とても、おなかを <sup>すかせ</sup> すかせて、いるようでした。
No. 7 *誤り数5	おじいちゃん、お元気ですか。ぼくは、 <sup>は</sup> とても元気です。今度の夏休み、みんなで、おじいちゃんの家 <sup>に</sup> に行きます。また、魚釣りをしたいな。今年は、自分で針が <sup>つけ</sup> つけられるようになりたいです。今日は、雨が <sup>ザアザア</sup> ザアザア降っています。てるてる坊主を作つて、窓の外に、 <sup>さげ</sup> さげられています。
No. 8 *誤り数6	「あの一、すみません。ハサミ、 <sup>あり</sup> ありますか？」「いらっしゃいませ。どんなの <sup>を</sup> 、いいですか？」「よく <sup>切</sup> 切れるのが、いいんだけど安い <sup>の</sup> ありますか？」「三百五十円のが、いいと思うけど？」「ちょっと <sup>高</sup> 高いなあ。三百円しか、 <sup>ない</sup> あるんです。」「うーん…じゃ、五十円おまけして <sup>あげ</sup> もらおうよ。」
No. 9 *誤り数5	お店で、コーヒーを飲んでいたら、急に、おなか <sup>が</sup> を、いたくなりました。「あの一、すみません。トイレ、 <sup>ど</sup> どこですか？」「あ、むこうのおくに、 <sup>あり</sup> いますよ。」わたしは、急いでトイレに <sup>行き</sup> 行きました。でも、 <sup>さき</sup> さきにだれか入っていて、とっても困りました。
No. 10 *誤り数5	きのう、学校の帰りに、ともや君 <sup>に</sup> を会つた。「あれ？どこ <sup>へ</sup> 行くの？遊ばない？」「これから、英語のじゅくなんだ。 <sup>だ</sup> だから、遊べないんだよ。」「そっか…、じゃ、しょうが <sup>な</sup> あるね。」「ごめんね。明日 <sup>が</sup> 、だいじょうぶだよ。」
No. 11 *誤り数5	きのうの夜、さとみさんと、お祭り <sup>に</sup> に行つた。神社のけいだいに、お店を <sup>た</sup> たくさん、出していた。二人で金魚 <sup>す</sup> すくいをした。さとみさんは、三匹とれた。でもわたしは、一匹しか <sup>と</sup> とれなかつた。帰りに綿アメを買つた。「五百円だけど、四百円 <sup>が</sup> がいいよ」と、おじいさんが、おまけして <sup>くれ</sup> あげた。
No. 12 *誤り数5	今日、ぼくのクラスを、北海道から転校生が来た。朝の会 <sup>の</sup> とき、 <sup>その</sup> その子は、「鈴木弘です。よろしく願ひ <sup>し</sup> ます。」と、大きな声で、挨拶した。鈴木君は、ぼくのとりの席になつた。ぼくは、鈴木君に教科書を見せて <sup>あげ</sup> くれた。「ありがとう。」鈴木君は、はずかし <sup>そう</sup> そう、そう言つた。
No. 13 *誤り数5	ある日、森の中で、ぼくは、 <sup>冊</sup> 一枚のノート <sup>を</sup> を、ひろいました。 <sup>その</sup> そのノートには、ずいぶん大きな字で名前が <sup>あり</sup> 書いていました。「1ねん1くみ くまやまくまお」。きっと、これは、クマの子どもの、落としたにちがひ <sup>な</sup> ある。ぼくはそう思いました。ぼくは、ノートを <sup>ペラペラ</sup> ペラペラと、めくってみました。
No. 14 *誤り数5	「たちまち」は、「すぐに」という意味 <sup>の</sup> を、ことばです。 <sup>こんな</sup> そんなふう <sup>に</sup> に、使います。「たちまち、雨がふりだした。」これは、すぐに、雨がふりだした、ということですよ。同じよう <sup>な</sup> の意味をあらわすことばとしては、「おつというまに」ということばが、 <sup>あり</sup> あります。
No. 15 *誤り数5	ぼくは、明日、高山くんと、 <sup>遊</sup> 遊んだ約束をしている。いっしょに、プラモデルを <sup>行</sup> 買いに <sup>行</sup> 行く予定だ。ぼくは、船の <sup>は</sup> を買つつもりだけれど、高山君が、飛行機を買つと、言つた。9時に、駅前 <sup>に</sup> に集合して、それから二人で、お店に行く。何だか、 <sup>ワクワク</sup> ワクワクするなあ。お財布も、出しておかなきゃ。
No. 16 *誤り数5	こんどの日曜日は、温泉 <sup>の</sup> に行つて、 <sup>のんびり</sup> のんびりしたいなあ。近いところなら、車 <sup>で</sup> で二時間ぐらいで行けるし、ホテル <sup>に</sup> がとまらなかつたら、そんな <sup>に</sup> に、お金もかからないし。 <sup>だ</sup> だから、お休みの日は道が、こんでいるかも <sup>知</sup> 知らない。早起きを <sup>する</sup> するのは、ちょっと、めんどくさいなあ…
No. 17 *誤り数5	さつき、おとなりの吉田さんが、 <sup>本</sup> 閲覧板を持って <sup>行</sup> 行つてくれました。 <sup>その</sup> そのとき、吉田さんが、「この間旅行 <sup>に</sup> に行く時の、おみやげよ。」といつて、おまんじゅうを、 <sup>くれ</sup> くれました。茶色い温泉まんじゅうです。わたしは、大の甘党なので、饅頭 <sup>の</sup> の中で、(ラッキー♥)と叫んでしまいました。
No. 18 *誤り数5	もう、秋だというのに、暑い日が続いていますね。昨日も、最高気温が二十七度 <sup>も</sup> ありました。今年は、紅葉も、いつもより、だいぶんおくれる、 <sup>こと</sup> ことですよ。でも、朝晩は、冷え込むことが、さすがに多くなつて <sup>来</sup> 来ました。カゼを <sup>引</sup> 引かぬように、気をつけましょうね。
No. 19 *誤り数5	その石は、とても <sup>大</sup> 大きく、重かつた。ぼくは、たくやくんと <sup>いっしょ</sup> べつべつに、その石を、もちあげて、どかすことにした。「じゃあ、 <sup>行</sup> 来るよ。いち、に一の、 <sup>さん</sup> さんっ！」ふたりで、力を合わせて、石 <sup>を</sup> もちあげた。とっても重い。でも、ぼくたちはがんばつた。
No. 20 *誤り数5	「ひろしくーん、 <sup>もう</sup> まだ八時よ。早く起きないとちこくしちゃうよ！」「…えっ！お母さん、ちゃんと <sup>起</sup> 起きてよ！」「だって、目覚まし時計、 <sup>鳴</sup> 鳴いてたわよ。」「 <sup>そんな</sup> そんなの、ぜんぜん、気づかなかつたよ！」「もう、しょうが <sup>な</sup> あるわねえ。」

No. 21 *誤り数5	今日も、朝から、クムじいさんは、畑で草むしりにしている。クムじいさんは、ほんとうに、はたらきまわっている。おじいさんは、もう「クムじいさん。こんばんは！」「やあ、ネリ。朝ごはんは、食べたかい？」「うん。あれから、学校に行くところなんだよ。」
No. 22 *誤り数5	◎旅行のとき、持って行くもの ①きがえ:冬は、あたたかい下着を、いいよ。②ばんそうこう:手や足をけがしたときに、必要だよ。③ガイドブック:重いもの、いいよ。④お金:これがないと、おぼろげだよ。
No. 23 *誤り数5	坂本君と、初めて会うのは、ほくが、小学6年生の時だった。坂本君は、ほくの家のとなりに、九州から引越して来たのだ。そのとき坂本君は、ほくよりひとつ年下の小学5年生。でも、背は、ほくよりずっと高かった。髪の毛も長く伸ばして、まるで、中学生のようだった。
No. 24 *誤り数5	水道から、ポタリポタリと、しずくが落ちていた。お父さんもお母さんも、ぐっすり寝ているようだ。ほくは、ベッドから抜け出すと、音をたてないように服を着て、靴をはいた。ふと、振り返ると、ベンがしっぽをふって、こちらを見ている。「シッ」ほくは、指を立てて口に入れた。
No. 25 *誤り数5	むかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがおりました。ある日のこと、おじいさんは山にしばかりに、おばあさんは、川をせんたくに行きました。おばあさんが、せんたくをしてあると、大きな桃が流れて行きました。おばあさんは、びっくりして、しりもちを食べてしまいました。
No. 26 *誤り数5	わたしの、お父さんは、毎日、会社を、はたらいています。でも、日曜日は、会社がお休みなんで、わたしと、遊んであげます。このあとの日曜日は、公園に来て、バドミントンをしました。お父さんは、バドミントンが、とても上手なので、わたしは、一度も、勝てませんでした。
No. 27 *誤り数5	むかし、ある国に、とても、くいしんぼうの王様がいます。王様は、朝から晩まで、いつも、おなかを、すかせていました。王様は、けらいたちに、「もっと、おいしいものを、持って来い」と、命令しました。けらいたちが料理を運ぶと王様は、「もっと、もっと」とさげました。
No. 28 *誤り数5	今日は、学校で、合唱コンクールがある。私たちの五年二組が、「つばさをください」という歌を歌った。私は、前まで一列目で、はずかしかったけれど、がんばって歌った。そうして、いよいよ結果発表。私は、内臓がドキドキした。そして、なんと優勝！思わず楽しく泣いてしまった。
No. 29 *誤り数5	3時から、映画が終わるというのに、電車が、まだ来ない。どうやら、となりの駅で、事故が、あったらしい。このままでは、映画に間に合わない。やっぱりバスで、乗ることにしようか。バスだったら、駅前から、たくさん出ているし、時間もそんなにかからないよ。よし、バスで行こう！
No. 30 *誤り数5	きのう、学校の教室で、ハンカチが、落ちていたのを見つけた。女の子をつかうような、赤いハンカチだ。でも、名前が書いてないので、だれのなか、わからなかった。教室には、ほく以外に、だれもいなかったから、ほくは、その落とし物を、職員室に持って行くことにした。
No. 31 *誤り数5	このあとの日曜日、ほくは、家のてつだいを、たくさんした。まず、午前中、せんたくものを、ほした。それから、お母さんに、たのまれて、スーパーに、買い物に乗った。ほんごはのあと、こんどは、にわの草むしりをした。そして、夕方せんたくものを、たたいた。おおいそがしかった。
No. 32 *誤り数5	今日、ゆみさんは、友だちのひとみさんと、映画を見に行くことに、しています。午後4時に駅で待ち合わせて、電車で行くつもりです。映画が終わったら、お店で、夕食を食べる予定です。どこのお店に行くかは、まだ、決まっています。それから、ネットで調べようと思っています。
No. 33 *誤り数5	きのう、家の近くのレストランに、カレーを食べた。大きなお肉が、いっぱい入っていて、とてもおいしかった。家の近所に、そんなレストランがあるなんて、ぜんぜん、きがつかなかった。こんど、乗るときは、ほかのメニューも、食べてみよう。うう！友だちにも教えてあげよう。
No. 34 *誤り数5	午前6時2分、電車は、南野原駅が、出発した。まだ、朝早いせいか、車内には、乗客が4人しかいない。電車は、だんだんと、スピードをあげ、窓の外の景色も、どんどん、後ろに、流れて行く。もう次の松ノ木駅のホームが見えてきた。そうして、午前6時5分。電車は松ノ木駅に着陸した。
No. 35 *誤り数5	おじいちゃん、お元気ですか。ほくが、とっても元気です。来週まで、夏休みがはじまります。そうしたら、おじいちゃんの家にも、来る予定です。おじいちゃん、会えるのが、とっても楽しみです。あー、早く、夏休みにならないかなあ。いまから、ワクワクしています。
No. 36 *誤り数5	田中さんは、花屋さんで、はたらいています。花屋さんの仕事は、朝がとても早いで、毎朝、五時には、おきています。お店につくと、きれいにそうじをします。それから、きれいに、花を並べます。でも、花は、何百種類もあるので、なかなか、名前をおぼえることができません。
No. 37 *誤り数5	タコとイカ、どこが同じで、どこがちがうかな？まず、同じところ。どちらも、海に住んでいる。それから、両方とも、体がグニャグニャしている。それじゃあ、どこが、ちがうかな？タコは体が赤い。だから、イカは白いよ。それから、タコの足は八本だけれど、イカは十本もあるよ。
No. 38 *誤り数5	この前の日曜日、吉田さんとデパートで、買い物に行った。デパートは、たくさんの人で、すいていて、わたしは、すぐに、つかれてしまった。ベンチに座って、休んでいると、吉田さんが、ジュースを買ってきてくれた。でも、そのジュースが、とてもおいしくて、わたしは、すっかり、元気になった。
No. 39 *誤り数5	むかし、あるところに、ひとりの、おばあさんがいました。おばあさんは、毎日、畑で、やさいをつくって、くらしていました。ある日のこと、おばあさんが、畑に行くとき、鳥が、一羽、いました。それは、みたこともない美しい鳥でした。その鳥が、くちばしに、何かくわえているのです。
No. 40 *誤り数5	十年くらい前のことです。もう、私が、小学生のころでした。家の近所に、こわれかけた古い家が、ありました。その家には、おばあさんが、ひとりで、暮らしていました。おばあさんは、毎朝、家の前を掃除していました。でも私は、一度も、おばあさんと、話をしたことがありませんでした。

No. 41 *誤り数5	来月から、習字教室が、始まりました。毎週土曜日の七時から八時まで、こどもクラブで、行きます。小学生から中学生まで、参加する事ができます。習字道具は、それぞれ用意して行ってください。それから、こどもクラブには、自転車と、とめるところがないので、歩いてください。
No. 42 *誤り数5	こんど、学校で合唱コンクールが、開かれる。ぼくたち四年一組も、優勝をめがけて、毎日練習している。ぼくは、歌が、上手じゃない。でも、先生が、元氣よく歌えばいい、と言ってくれたから、安心して大きな声を出している。コンクールまで、あと一週間。がんばらなくっちゃ。
No. 43 *誤り数5	お正月の遊びには、いろいろなものがあります。すごろくは、サイコロをころがして、遊ぶゲームです。タコあげは、紙で作ったタコを、空に上げる遊びです。羽根つきは、羽子板と言う木の板が、羽根を打ち合う遊びです。あなたは、お正月にどんな遊びをしたことがありますか？
No. 44 *誤り数5	わたしは、いま、ラーメン屋さんで、アルバイトをしています。毎週、月曜日と水曜日の、午後2時から、夜の9時まで、はたらいています。どんな仕事をしているかというと、お皿を洗ったり、野菜を切ったり、していました。アルバイトでお金をため、旅行をしたいと思っています。
No. 45 *誤り数5	わたしの趣味は、食べるものです。おいしい料理やデザートには、鼻がないのですが、その中でも一番、好きなのが、ラーメンです。ラーメンだったら、毎日食べても、あきません。ラーメンのつぎに、好きなのは、カレーです。とくにインドの人は、作っているような、本場のカレーが大好きです。
No. 46 *誤り数5	わたしは、家でカメを一匹、飼っています。色は緑色で、大きさは、二十センチくらいです。グーちゃんという名前をつけています。どうしてかと話すと、ときどき、グーと鳴くからです。グーちゃんは、いつもは、ずっとしているけれど、エサをもらうときは、すばやく動きます。
No. 47 *誤り数5	きょう、国語の時間へ、作文を書いた。「将来の夢」というテーマだった。わたしは、もう、将来の夢がない。だから、何を書いていいか、わからなくて、こまってしまった。しかたがないので、「百才から長生きしたい」と書いた。家に帰っておかあさんに、そのことを話したら、笑っていた。
No. 48 *誤り数5	きのう、体育でサッカーをやっていたら、きゆうに気持ちが悪くなった。先生に言って、保健室に行かせてもらった。保健室で、熱をはかってみると三十九度もあった。「インフルエンザかも知れないね」と言われて、すぐに、お母さんと病院に行った。病院で検査をしたら、やっぱり、そうだった。
No. 49 *誤り数5	このまえ、生まれてはじめて、回転ずしのお店に行きました。話には見せていたのですが、お店に入ってみてびっくりしました。思っていた以上に、たくさんの種類のお寿司が、回っていたからです。それに、お寿司だけではなく、ケーキや、ラーメンまであることにも、おどろかされました。
No. 50 *誤り数5	暑中おみまい申し上げます。先生お元氣です。ぼくは、いま、高知県のおじいちゃんの家にはいます。海が近いので、毎日、海水浴をしていたら、体が真っ黒になりました。でも、夏休みの宿題は、まだ全部終わりましたよ。先生は、夏休みに、どこかへ行きましたか？
No. 51 *誤り数5	きのう、コンビニで、お金を払おうとしたときに、百円玉を落としてしまいました。百円玉はコロコロころがって、どこに行ったのかわかりません。こまっていると、男の人が、「ここに、あったよ」と、拾ってくれました。私は、ホッとして、お金を受け取りました。そして男の人がお礼を言いました。
No. 52 *誤り数5	最近、私の家の近くに、コンビニが、開店しました。エコマートという名前がお店です。きのう、私も、はじめて、その店に行ってみました。お店は、とても、こんで、ずいずい、パンを買うだけなのに5分も並びました。感じがいいお店だったので、また、ちやちやく行くと思っています。
No. 53 *誤り数5	あるところに、とても背の高い男がいました。男の名前は、「ぎすけ」といいました。ぎすけは、獵師でした。毎日、山でシカやタヌキをとって暮らしていましたが、こまったことが、ありました。背が高いために、すぐ動物に見つかって逃げられてしまうのです。だから、ぎすけは貧乏でした。
No. 54 *誤り数5	きのう、わたしは、家の近くの、スーパーに、買い物に行きました。ところで、帰りに、自転車で転んでしまったのです。さいわい、けがは、しませんでした。タマゴが3つも、わってしまいました。そのおかげで、買い物袋の中が、イチヤイチャ。わたしは、がっかりしてしまいました。
No. 55 *誤り数6	ぼくには、弟がひとり、いる。弟は、ぼくからひとつ年下の小学4年生だ。だけど、身長は、ぼくよりも高い。体重も重くて、いったい、どっちが兄か弟か、わからないくらいだ。でも、走るの、ぼくの方が速い。かけっこだけは、弟に勝つ自信がある。でもあとは、みんな弟に負けている。
No. 56 *誤り数5	今週、わたしは、とても忙しい。まず、月曜日は、学校が終わるあとに、歯医者に行かなければならない。火曜と水曜はクラブがあるし、木曜は妹と、父の日のプレゼントを買いに行くことになっている。金曜はスイミングがあるし、土曜も朝までクラブの練習だ。もう目が回りそうだ。
No. 57 *誤り数5	冬休みが始まった。わたしは、まだ年賀状を書きいかなかった。まず郵便局に年賀状を売りに行った。郵便局が、とても混んでいて、窓口には行列ができていた。やっと年賀状を足に入れて、ほっとしていたら、友だちの山田さんに会った。山田さんは、まだ年賀状を出しに来ていた。
No. 58 *誤り数5	今年のお正月は、いろいろ楽しいことがあった。まず、元旦は、おじいちゃんの家で、餅つきをした。それから二日は初詣に行った。おみくじを引いたら、なんと！大吉だった。三日と四日は、家族で、スキーに行った。雪がすごく積んでいて、びっくりした。お年玉も、いっぱいもらったよ。
No. 59 *誤り数6	私は今、イギリスのものについて、調べています。なぜかという、今度、高校の修学旅行にイギリスに行くからです。昨日は、市の図書館で、本を買ってきました。イギリスには、王様と女王様が、いるそうです。それから、サッカーがとても盛んなようです。あー、早く行ってみたいなあ。
No. 60 *誤り数5	さっき、トイレに入ったら、トイレの電球が、切れていることに気がついた。うちのトイレには窓がある。だから、ドアを閉めると、まっくらになってしまう。しかたがないので、ドアを少しだけ開けて用をひいた。でも、だれかが見られているようで落ち着かなかった。電球、買わなきゃ。



